

クイックアジャスター工法

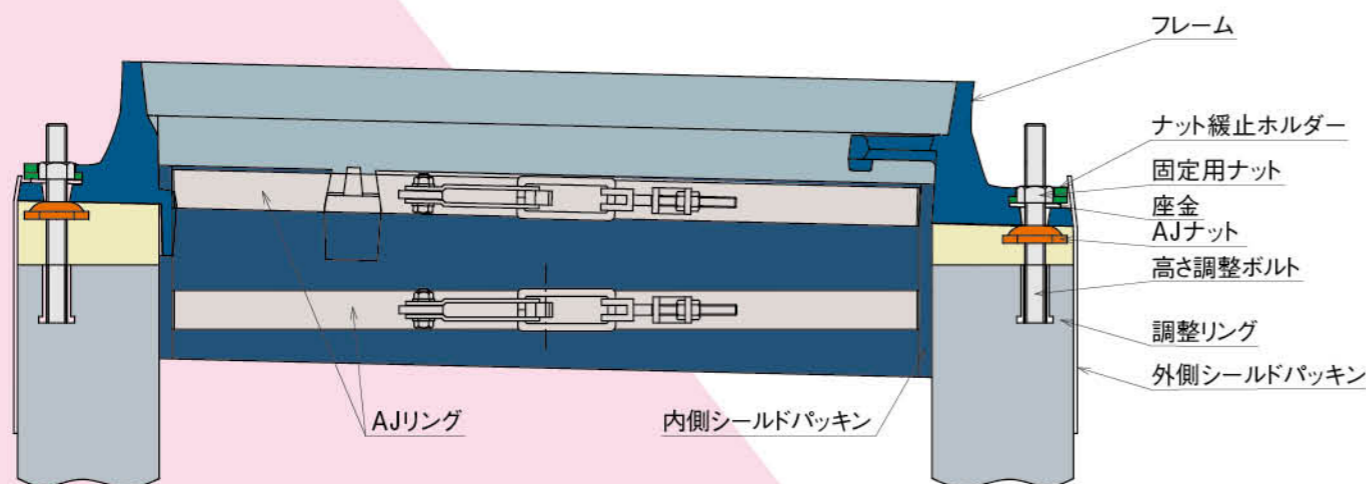
トミス式、丸型鉄蓋の高さ調整 品質・作業効率・コストが抜群

クイックアジャスター工法は

従来工法での丸型鉄蓋高さ調整の欠点を改良し高品質で、
よりスピーディーな作業対応を目的として開発された最新技法です。

従来工法の欠点

- 施工工程に手間がかかり作業効率の悪化。
- 内側に使用するゴム又はスポンジの押さえが弱く、密着性に欠けるため、隙間からセメント、モルタルが流れ落ち、仕上げが悪く完成度に欠ける。
- 施工の都度、ゴム又はスポンジ材を使用するのでコスト高。



- **外側シールドパッキン**
ゴムの伸縮・弾力性を活用し、取り扱いが容易、外面の流動セメントの流れ落ちをシャットアウト。外面仕上げも美しく、優れた耐久性で何回でも使用可能。
- **内側シールドパッキン**
スポンジの特性を最大限活用し、優れた密着性と美しい内面仕上げ、抜群の耐久性で何回でも使用可能。(受枠ストッパー部に合わせ、数タイプご用意してございます。)
- **AJリング**
抜群の作業効率、内側シールドパッキンの上から、ワンタッチ式で2ヶ所のシールドパッキン押え止め、内側の流動セメント漏れをシャットアウト、ステンレス製で何回も使用可能。

流動セメント

優れた流動性で、わずかな隙間にも完全充填でき、収縮や気泡、クラックも発生せず、最適な施工材です。
(流入後硬化時間30~40分。)

施工手順

- 高さ調整ボルトにAJナットをセットし勾配調整を行う。
(嵩上高さは8cmの範囲で行ってください。)
- フレーム表面のアンカー穴部の高さ調整ボルトに固定用ナット3ヶ所取り付け。完了後、緩み止めホルダーをナットの上に取り付けセットする。
- フレームと下樹の内側に内側シールドパッキンを密着させる。
- 内側シールドパッキン取り付け後、ワンタッチ式AJリング2本を取り付けセットする。
- AJリング取り付け完了後、外側シールドパッキンを下樹とフレームに覆い被せる。
- 規定量の水を容器に入れハンドミキサーを回転させながらグラウト材を少量ずつ入れ十分練り混ぜ流動セメントを作る。
- アンカー穴の一番高い所に、AJホッパーをセットし均一充填させるため、ハンマーでフレーム上面を叩きながら、流動セメントを流し込む。
- アンカー穴に流動セメントが十分充填されましたら流動セメントの流し込み完了。
- 流動セメント流し込み完了後、約30~40分で硬化。内・外シールドパッキンを取り外して完了。